

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘

TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成26年11月21日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 10,785 | △6.8 | △133 | — | △151 | — | △144 | — |
| 26年3月期第2四半期 | 11,568 | 6.4 | 81 | △10.5 | 51 | △24.5 | △52 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △183百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △28百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第2四半期 | △4.20 | — |
| 26年3月期第2四半期 | △1.74 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第2四半期 | 10,811 | — | 2,474 | — | — | 8.4 |
| 26年3月期 | 11,073 | — | 2,770 | — | — | 9.9 |

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 904百万円 26年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 1.50 | 1.50 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,400 | △5.6 | 350 | △38.3 | 310 | △43.8 | 240 | △25.0 | 6.96 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) HMリテーリングス株式会社
(注)詳細は、5ページの2. サマリー情報(注記事項)に関する事項「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 27年3月期2Q | 34,497,058 株 | 26年3月期 | 34,497,058 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 27年3月期2Q | 15,966 株 | 26年3月期 | 15,966 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 27年3月期2Q | 34,481,092 株 | 26年3月期2Q | 34,481,092 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表及び財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算説明会の資料及び内容は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、国内景気は緩やかな回復基調となったものの、個人消費については、消費税増税による影響や夏季の天候不順なども重なり、依然として厳しい状況となりました。

当社グループが属する業界におきましては、特に嗜好品・高額品を取り扱う業界において消費動向が不安定であり、企業間競争の激化などもあり、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況のもと、当社グループでは、「第二創業 ～2nd Stage～」と位置づけた当第2四半期連結累計期間において、今後の更なる成長、業績の継続的な拡大を目指す準備のために各種施策・投資を推進しております。

従来より掲げている「ソフトと価値の提供」をテーマとした商品以外のサービス・満足の提供を目指した施策を継続することに加え、グループ全体の人財育成策として、山野美容芸術短期大学と提携した「美道特別研修」を新たにスタートさせ、当社グループの企業理念である「美道五原則」（「髪」「顔」「装い」「精神美」「健康美」の調和）を深化させるとともに、茶道を通じたマナー研修を通じ、接客力強化及び将来の中核的人財育成の強化に努めてまいりました。

この結果、売上高は107億85百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業損失は1億33百万円（前年同四半期は営業利益81百万円）、経常損失は1億51百万円（前年同四半期は経常利益51百万円）、四半期純損失は1億44百万円（前年同四半期は四半期純損失52百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、平成26年4月1日付のグループ内の組織再編に伴い、セグメントの管理区分を見直したことにより、記載する事業セグメント区分の変更又は名称の変更を行っております。前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は14頁に記載の（セグメント情報等）をご参照ください。

1) 「美容事業」

美容事業につきましては、「ファミリーサロン」「アンチエイジングサロン」への店舗改修を他社との差別化戦略としております。当第2四半期連結累計期間においては「アンチエイジングサロン」への店舗改修を1店舗実施、1店舗の新規出店を実施し、また、前期より引き続き、着付け技術取得者の増員、実施店舗の拡大を図っており、人財育成強化によるサービスメニューの拡大を推進しております。

なお、平成26年9月30日現在の店舗数は、直営104店舗、FCは1店舗を閉鎖し5店舗となっております。

美容事業においては、前連結会計年度に12店舗の閉鎖・統合を実施した影響があり、売上高は、12億33百万円（前年同四半期比9.8%減）となり、セグメント利益35百万円（前年同四半期比17.8%減）となりました。

2) 「スポーツ事業」

スポーツ事業につきましては専門店ならではの提案力強化、体験サービスイベントの開催、メンテナンスサービスの商品化等を推進しております。メンテナンスサービス強化のため、当第2四半期連結累計期間においては、最新型チェーンアップマシンの機材投入をウィンター商品販売店舗で実施しております。なお、平成26年9月30日現在の店舗数は17店舗となっております。

スポーツ事業においては、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動減が顕著となり、また、夏季の天候不順によるマリン・ダイビングの夏物商戦が不振であったことや広島市大雨災害による同地区大型店舗の営業への影響もあった結果、売上高は15億39百万円（前年同四半期比11.0%減）となり、セグメント損失1億32百万円（前年同四半期はセグメント損失76百万円）となりました。

3) 「DSM事業」

DSM事業につきましては、買い物の場が減少してしまった地方の顧客に対する商品提案の場として各ショップにおいてミニ展示会を積極的に開催しておりますが、消費税増税による消費の冷え込みの影響を受けるなど、売上は低調に推移してまいりました。しかしながら東京都内で開催した夏季の大型催事「大江戸 夏祭り」は集客数、売上高とも計画を大きく上回る成功を収めました。また事業部の販売物流システムの更改により事業所間での情報・ナレッジの共有の強化を図り、収益力向上に努めております。

なお、平成26年9月30日現在の店舗数は83店舗となっております。

この結果、DSM事業の売上高は14億46百万円（前年同四半期比10.0%減）となり、セグメント利益33百万円（前年同四半期比47.2%減）となりました。

4) 「和装宝飾事業」

第1四半期連結累計期間においてグループ内組織再編を実施し、従来の「和装・アパレル事業」と「宝飾事業」を統合し、「和装宝飾事業」とする体制をスタートさせました。営業管理体制を統合することにより、店舗運営ノウハウを共有し相乗効果を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、和装小売店舗2店舗を新規出店、3店舗を閉鎖、宝飾小売店舗3店舗の閉鎖を実施し、平成26年9月30日現在の店舗数は、和装小売店舗が64店舗、宝飾小売店舗が24店舗、洋装小売店舗が9店舗となっております。

和装宝飾事業においては、特に宝飾品販売において消費税増税の影響が顕著となり売上高は対前年同期比85.1%と低調でしたが、和装品販売における売上高は、前期に導入した「ステップアップガイドライン」による人材育成と販売力強化に努めたこともあり、対前年同期比102%と堅調に推移しました。その結果、売上高は33億25百万円（前年同四半期比3.0%減）となりましたが、セグメント利益は、当社グループ内での本社費按分の見直しを行ったことによる経費負担増加があり、42百万円（前年同四半期比57.9%減）となりました。

5) 「卸売事業」

卸売事業につきましては、百貨店における売場コーナー化の推進に向けた施策を実施し、「卸から顧客創造」戦略を推進しております。なお、平成26年9月30日現在のタケオニシダ直営店の店舗数は18店舗となっております。

当第2四半期連結累計期間においては、消費税増税の影響や天候不順による大型催事の中止や延期があったため、百貨店及び専門店での売上が伸び悩みました。その結果、卸売事業の売上高は29億50百万円（前年同四半期比7.4%減）となり、セグメント損失88百万円（前年同四半期はセグメント損失16百万円）となりました。

6) 「その他の事業」

その他の事業の事業内容は、主に堀田（上海）貿易有限公司の意匠撚糸の販売、株式会社ヤマノセイビングの前払式特定取引業による手数料収益であります。

その他の事業の売上高は、2億89百万円（前年同四半期比16.3%増）となり、セグメント損失2百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ2億61百万円減少し108億11百万円となりました。これは、主に流動資産においては現金及び預金が1億49百万円減少、受取手形及び売掛金が3億78百万円減少し、商品及び製品が2億52百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ33百万円増加し83億37百万円となりました。これは、主に短期借入金が1億16百万円増加、未払金1億11百万円増加し、未払法人税等が28百万円減少、長期借入金が46百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ2億95百万円減少し24億74百万円となりました。これは、主に剰余金の配当51百万円、四半期純損失1億44百万円、少数株主持分99百万円の減少によるものであります。

第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純損失が1億51百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ3億19百万円減少し8億50百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、1億15百万円（前年同四半期は8億2百万円の支出）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失1億51百万円に対し、売上債権の減少額3億41百万円、棚卸資産の増加2億77百万円、法人税等の支払額58百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、18百万円（前年同四半期は3億50百万円の収入）となりました。

これは主に、敷金及び保証金の回収による収入51百万円、有形固定資産の取得による支出34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、48百万円（前年同四半期は2億35百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の増加1億16百万円、長期借入金の返済による支出53百万円、配当金の支払額50百万円、少数株主への配当金の支払額40百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、売上高234億円、営業利益3億50百万円、経常利益3億10百万円、当期純利益2億40百万円を計画いたします。

詳細については、本日付で公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 24,200 | 500 | 470 | 360 | 10.44 |
| 今回予想(B) | 23,400 | 350 | 310 | 240 | 6.96 |
| 増減額(B-A) | △800 | △150 | △160 | △120 | — |
| 増減率(%) | △3.3 | △30.0 | △34.0 | △33.3 | — |
| (ご参考)前期実績 | 24,783 | 567 | 551 | 320 | 9.03 |

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、従来、連結子会社であったHMリテーリング株式会社は、平成26年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,493,959 | 1,344,219 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,823,215 | 2,444,556 |
| 商品及び製品 | 2,918,370 | 3,171,048 |
| 仕掛品 | 29,420 | 40,860 |
| 原材料及び貯蔵品 | 47,128 | 55,344 |
| 繰延税金資産 | 36,710 | 36,710 |
| その他 | 273,556 | 354,938 |
| 貸倒引当金 | △64,816 | △24,561 |
| 流動資産合計 | 7,557,544 | 7,423,117 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,669,326 | 1,671,651 |
| 減価償却累計額 | △1,164,764 | △1,150,926 |
| 建物及び構築物(純額) | 504,562 | 520,725 |
| 機械装置及び運搬具 | 23,900 | 23,900 |
| 減価償却累計額 | △23,445 | △23,515 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 455 | 385 |
| 工具、器具及び備品 | 437,049 | 439,085 |
| 減価償却累計額 | △392,566 | △396,785 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 44,482 | 42,299 |
| 土地 | 737,821 | 727,521 |
| リース資産 | 39,292 | 57,269 |
| 減価償却累計額 | △15,874 | △20,718 |
| リース資産(純額) | 23,417 | 36,551 |
| 建設仮勘定 | 9,470 | - |
| 有形固定資産合計 | 1,320,210 | 1,327,483 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 217,220 | 187,217 |
| その他 | 150,328 | 136,129 |
| 無形固定資産合計 | 367,548 | 323,347 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 145,386 | 150,277 |
| 長期貸付金 | 12,696 | 11,807 |
| 敷金及び保証金 | 1,329,490 | 1,250,470 |
| 繰延税金資産 | 92,677 | 87,199 |
| その他 | 382,127 | 368,601 |
| 貸倒引当金 | △134,145 | △130,733 |
| 投資その他の資産合計 | 1,828,232 | 1,737,623 |
| 固定資産合計 | 3,515,992 | 3,388,455 |
| 資産合計 | 11,073,537 | 10,811,572 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,184,704 | 3,192,211 |
| 短期借入金 | 160,000 | 276,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 256,920 | 250,360 |
| 未払金 | 480,205 | 592,160 |
| 繰延税金負債 | 1,337 | - |
| 前受金 | 1,253,441 | 1,245,070 |
| 未払法人税等 | 66,545 | 38,290 |
| 賞与引当金 | 12,920 | 1,760 |
| 返品調整引当金 | 14,522 | 13,138 |
| ポイント引当金 | 56,224 | 51,290 |
| 株主優待引当金 | 3,575 | 3,575 |
| 資産除去債務 | - | 2,542 |
| その他 | 480,914 | 408,074 |
| 流動負債合計 | 5,971,312 | 6,074,474 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,743,980 | 1,697,080 |
| 長期末払金 | 241,120 | 241,875 |
| 繰延税金負債 | 25,042 | 20,757 |
| 資産除去債務 | 173,584 | 171,852 |
| 負ののれん | 338 | - |
| その他 | 147,862 | 131,066 |
| 固定負債合計 | 2,331,928 | 2,262,631 |
| 負債合計 | 8,303,241 | 8,337,105 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 1,259 | 1,259 |
| 利益剰余金 | 984,663 | 788,168 |
| 自己株式 | △3,019 | △3,019 |
| 株主資本合計 | 1,082,903 | 886,408 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,694 | 12,142 |
| 為替換算調整勘定 | 8,645 | 6,324 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,340 | 18,466 |
| 少数株主持分 | 1,669,051 | 1,569,590 |
| 純資産合計 | 2,770,295 | 2,474,466 |
| 負債純資産合計 | 11,073,537 | 10,811,572 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

| | (単位：千円) | |
|--------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
| 売上高 | 11,568,107 | 10,785,246 |
| 売上原価 | 6,780,468 | 6,300,829 |
| 売上総利益 | 4,787,638 | 4,484,417 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,705,980 | 4,617,479 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 81,658 | △133,062 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 3,562 | 3,494 |
| 受取地代家賃 | 10,157 | 7,099 |
| 協賛金収入 | 6,229 | 5,954 |
| 負ののれん償却額 | 4,008 | 338 |
| その他 | 24,374 | 13,038 |
| 営業外収益合計 | 48,332 | 29,924 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 37,838 | 22,120 |
| 手形売却損 | 924 | 1,107 |
| 支払手数料 | 24,460 | 9,820 |
| その他 | 15,056 | 15,802 |
| 営業外費用合計 | 78,280 | 48,849 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 51,709 | △151,987 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 4,367 |
| 負ののれん発生益 | - | 20,136 |
| 特別利益合計 | - | 24,503 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 873 | - |
| 固定資産除却損 | 6,724 | 1,938 |
| 減損損失 | 40,901 | 2,832 |
| 店舗閉鎖損失 | 6,152 | 4,693 |
| その他 | 9,961 | 14,145 |
| 特別損失合計 | 64,614 | 23,610 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △12,904 | △151,094 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 34,512 | 32,681 |
| 法人税等調整額 | - | △1,533 |
| 法人税等合計 | 34,512 | 31,147 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △47,417 | △182,241 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 4,764 | △37,468 |
| 四半期純損失(△) | △52,181 | △144,773 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

| | (単位：千円) | |
|--------------------|---|---|
| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △47,417 | △182,241 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,086 | 2,768 |
| 為替換算調整勘定 | 12,543 | △4,158 |
| その他の包括利益合計 | 18,629 | △1,389 |
| 四半期包括利益 | △28,787 | △183,630 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △41,007 | △144,646 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 12,220 | △38,984 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | (単位：千円) | |
|--------------------------|---|---|
| | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △12,904 | △151,094 |
| 減価償却費 | 57,313 | 64,496 |
| 減損損失 | 40,901 | 2,832 |
| のれん償却額 | 28,660 | 30,002 |
| 負ののれん償却額 | △4,008 | △338 |
| 負ののれん発生益 | - | △20,136 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | △4,582 | △1,384 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △10,600 | △11,160 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | △2,285 | △4,934 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △17,446 | △43,667 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,562 | △3,494 |
| 支払利息 | 37,838 | 22,120 |
| 手形売却損 | 924 | 1,107 |
| 有形固定資産除却損 | 6,724 | 1,938 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | 873 | △4,367 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 476,131 | 341,419 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △227,689 | △277,152 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △692,734 | 73,895 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 5,351 | △8,371 |
| その他 | △320,126 | △63,523 |
| 小計 | △641,221 | △51,811 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,566 | 3,494 |
| 利息の支払額 | △33,588 | △7,498 |
| 手形売却に伴う支払額 | △924 | △1,107 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △130,420 | △58,859 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △802,588 | △115,782 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △61,602 | △34,502 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 187,613 | 18,600 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,590 | △3,630 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △877 | △733 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | 142,255 | - |
| 貸付けによる支出 | △428 | △1,195 |
| 貸付金の回収による収入 | 3,429 | 2,793 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △20,518 | △14,235 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 46,742 | 51,586 |
| 担保預金の増減額(△は増加) | 59,935 | 4,008 |
| その他 | △4,905 | △3,810 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 350,055 | 18,881 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △1,893,423 | 116,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,930,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △81,744 | △53,460 |
| 自己株式の取得による支出 | △102,506 | - |
| 配当金の支払額 | △46,797 | △50,369 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △40,554 | △40,544 |
| 子会社の自己株式の取得による支出 | △181 | △138 |
| その他 | - | △19,772 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △235,208 | △48,283 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,626 | △547 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △685,115 | △145,731 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,854,694 | 995,891 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,169,579 | 850,159 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当の支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|--------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月27日 定時株主総会 | A種優先株式 | 15,041 | 15,041,000 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月28日 | 利益剰余金 |
| | B種優先株式 | 31,756 | 31,756,458 | | | |

(注) 1. A種優先株式の発行数は1株であります。また、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額10,041千円は累積され、当期の配当額5,000千円と合わせて優先株主に対して配当いたしました。

2. B種優先株式の発行数は1株であります。また、当社定款に定められた配当額及び優先株式の累積条項に従い、前期までの累積配当額21,199千円は累積され、当期の配当額10,556千円と合わせて優先株主に対して配当いたしました。

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

平成25年6月27日開催の定時株主総会決議により、平成25年8月1日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えております。この結果、資本金が155,565千円、資本準備金が155,565千円減少いたしました。

また、平成25年8月21日開催の取締役会において、A種優先株式の全株式(1株)を取得及び消却することを決議し、以下のとおり実行いたしました。

- ① 取得及び消却した株式の数 1株
- ② 株式の取得価額 1株につき102,506,849円
- ③ 取得及び消却した日 平成25年9月30日

以上により、当第2四半期会計期間末においては、資本金が100,000千円、資本剰余金が209,883千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当の支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成26年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 51,721 | 1.50 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月30日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 美容 | スポーツ | DSM | 和装宝飾 | 卸売 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,366,998 | 1,730,356 | 1,607,106 | 3,429,627 | 3,185,517 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | 61,962 |
| 計 | 1,366,998 | 1,730,356 | 1,607,106 | 3,429,627 | 3,247,480 |
| セグメント利益又は損失(△) | 43,459 | △76,298 | 63,849 | 101,247 | △16,027 |

| | 報告セグメント | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,319,606 | 248,501 | 11,568,107 | — | 11,568,107 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 61,962 | 11,851 | 73,814 | △73,814 | — |
| 計 | 11,381,569 | 260,352 | 11,641,922 | △73,814 | 11,568,107 |
| セグメント利益又は損失(△) | 116,230 | △21,547 | 94,682 | △13,024 | 81,658 |

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△13,024千円には、セグメント間取引消去285千円、のれん償却額△27,231千円、各報告セグメントに配分していない全社費用9,991千円及び棚卸資産の調整額3,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

| | 美容 | スポーツ | DSM | 和装宝飾 | 卸売 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|--------|------|-----|-------|----|-----|-------|--------|
| 減損損失 | 38,532 | — | — | 2,369 | — | — | — | 40,901 |

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 美容 | スポーツ | D S M | 和装宝飾 | 卸売 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,233,535 | 1,539,545 | 1,446,773 | 3,325,847 | 2,950,529 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | 19 | — | 40,992 |
| 計 | 1,233,535 | 1,539,545 | 1,446,792 | 3,325,847 | 2,991,521 |
| セグメント利益又は損失(△) | 35,713 | △132,038 | 33,690 | 42,600 | △88,865 |

| | 報告セグメント | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,496,231 | 289,014 | 10,785,246 | — | 10,785,246 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 41,011 | 24,038 | 65,050 | △65,050 | — |
| 計 | 10,537,243 | 313,053 | 10,850,296 | △65,050 | 10,785,246 |
| セグメント利益又は損失(△) | △108,899 | △2,849 | △111,749 | △21,312 | △133,062 |

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△21,312千円には、セグメント間取引消去4,477千円、のれん償却額△24,668千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,654千円及び棚卸資産の調整額1,532千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

| | 美容 | スポーツ | D S M | 和装宝飾 | 卸売 | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|----|------|-------|-------|----|-----|-------|-------|
| 減損損失 | — | — | — | 2,832 | — | — | — | 2,832 |

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である堀田丸正株式会社より、HMリテーグス株式会社の株式を取得し、当社の100%子会社としたことに伴い、「和装宝飾」セグメントにおいて負ののれん発生益を20,136千円計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントの区分は、「美容」、「スポーツ」、「D S M」、「和装・アパレル」、「卸売」、「宝飾」としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「美容」、「スポーツ」、「D S M」、「和装宝飾」、「卸売」に変更しております。これは、事業構造変革の一環として既存の組織を見直し、従来以上に相乗効果を発揮すべく組織の一部を再編成したことに伴うものであります。

従来、独立した報告セグメントとしていた「和装・アパレル」と「宝飾」を「和装宝飾」に統合しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。